



新年のご挨拶

遅くなりましたが明けましておめでとうございます。昨年は皆様に多大なるご尽力いただき無事に大会運営できましたこと誠に感謝申し上げます。

元旦には能登半島地震があり、周りのご親族や友人含めて被害に遭われた方はいらっしゃるでしょうか？被害に遭われた皆様へは心よりお見舞い申し上げます。

さて、先月はレフリー通信へのアンケートありがとうございました。全てのご意見に目を通させていただきました来年度に向けてブラッシュアップした内容を届けられたらと抱負を掲げた次第です。特に多かったのは、試合中困ったときの対応方法や各カテゴリーでの活動方法でしたので、可能な限り届けられたらと考えております。アンケート結果のまとめは2月号でお届けしたいと思いますのでもうしばらくお待ちください。

本年も審判が楽しいと思えるような配信をしていきますので、現場でのご協力引き続きよろしく願いたします。



2024年1月1日初日の出
@久能海岸
撮影:井出

ウィンターカップ派遣報告 報告者:勝又志織(社会人 S級)

日程	対戦	CC	U1	U2
12/24	星城高校 聖和学園高校	勝又	鈴木 (北海道)	安藤 (東京)



接戦で、最後まで勝敗がわからない好ゲームでした。

両チームともフィジカルが強く、当たり負けしないプレイの連続であったため、よく見て影響を考えて笛を入れていくことを心がけました。

クルーともコミュニケーションを取り、情報共有しながら協力してゲームを進めていくことができました。クルーは二人ともデリバリー力が高く、CCMも存分に発揮していました。静岡の仲間にも伝え、ゲームを自分が引っ張っていきんだ、持っている情報を積極的に伝えるんだ、疑問はその場で解決するんだ、という意識をより強く持っていけると良いと感じました。ウィンターカップ特有の雰囲気、観客も非常に多い中コートに立てたこと、とても貴重な経験となりました。

また、審判仲間との再会や新しい出会いもあり、コートの外でも刺激をたくさん受けた1日でした。

このような機会を与えてくださったことに、心より感謝申し上げます。

ウィンターカップ派遣報告 報告者:杉山千華(社会人 A級)

日程	対戦	CC	U1	U2
12/23	日本航空高等学校北海道 県立下妻第一高等学校	杉山	鈴木 (長野)	依川 (東京)
12/24	明豊高等学校 県立広島皆実高等学校	加藤 (滋賀)	梅田 (福井)	杉山



ウィンターカップへ派遣させていただきありがとうございました。昨年ご一緒させていただいた方と話したり、久しぶりにお会いできた方と交流を持つことができ、今まで以上に刺激を受け、モチベーションアップに繋がりました。

試合では、CCとして試合を決め切る力があるともっと良くなる、コート上で自分をしっかりと出すことで次のステップアップに繋がるとアドバイスをいただきました。

コミュニケーションの取り方によって異なる判定に繋がる可能性があるため、CCの時こそ、クルーに「どのような言葉でどのように伝えるか」コミュニケーションの大切さを改めて感じることができました。

コミュニケーションを通して、お互いに信頼しゲームを創り上げていくことができると実感しました。初めてお会いする方でしたので、どのようにコミュニケーションを取っていくのかを考えることができました。

今回の経験を無駄にせず、県内の仲間と共有し日々精進していきたいです。



ジュニアウインターカップ派遣報告 報告者:長田裕太郎(社会人 B級)

日にち	チーム	CC	U1	U2
1月4日	明豊中学校(大分) 高知市立横浜中(高知)	佐田幸一 (山梨県)	村田真 (東京都)	長田裕太郎 (静岡県)
1月5日	たんぼぼ(埼玉) 山形U15(山形)	松岡悠貴 (東京都)	市橋祐介 (東京都)	長田裕太郎 (静岡県)
1月6日	島根U15(島根) 横浜U15(神奈川)	砂川卓嗣 (沖縄県)	門岡晋 (石川県)	長田裕太郎 (静岡県)



大会参加への意気込み

U15カテゴリーのNo.1決定戦であり、かつ中学3年生にとっては最後の大会であるため、選手が全力を出し切ることができるゲームにしてあげたいと思って臨みました。そのために、明らかに影響が生じた現象には笛を入れ、それ以外の現象については影響が出たかを確認して判定することを意識しました。

担当ゲームを終えて

ポストゲームカンファレンスでは、影響が無いと判断し笛を鳴らしていないものでも、フラストレーションの解消などゲームコントロール上必要なものは取り上げる必要があるとコメントをいただきました。これまで影響の有無で判定していましたが、ゲームを感じゲームをコントロールすることを考えた笛の必要性を知ることができました。そのほか、ショットクロックミスのLポジションからのヘルプ、ヘルプディフェンスの考え方、スピードアジャスターの役割等、これまで知らなかった新たな知識を取り入れることができました。

派遣を終えて

本大会にはトップリーグを担当されている方々も多く会場に来ており多くのことを指導いただきました。このような貴重な機会をいただくことができ本当によかったと思っています。
また、学生時代に学連やYOCで交流のあった同級生と久しぶりに再会しました。当時同じB級（当時は日本公認）であった同級生がA級S級になっており、自分も負けてられない、もっと頑張りたい、と気合を入れ直す機会になりました。
井出審判長をはじめ、本派遣をサポートしていただいた方々には大変お世話になりました。今後の審判活動をより一層励むと共に静岡県のバスケットボールを盛り上げる一助となれるよう精進してまいります。

余談になりますが...

私が派遣で家を留守にしている間、妻もBリーグ観戦込みで広島の一人旅を満喫していたそうです。いつも一緒にいますが、時にはそれぞれの時間を楽しむことも大事ですね！（笑）

